

☆ つむぎ 居宅訪問型児童発達支援プログラム ☆

- ① 子どもたちは、それぞれペースは違っていても、一歩ずつ発達の道筋を歩んでいます。そして、自分自身を精一杯表現しています。ひとりひとりの発達段階を理解し、子どもの世界をともに楽しみつつ、その世界が広がっていくことを支援していきます。
- ② 大好きな遊びや関わりをたくさんすることによって豊かな心を育み、その中で自分の意思を表現できるように支援します。
- ③ 子どもたちと遊びを通して繋がる中で、自分の意思を伝える方法(まばたきや舌の動き、指の動きなど)を引き出せるよう丁寧に関わり、生活の主人公になっていく支援をします。
- ④ 家族が子どもと愛着形成ができるよう、また子育てや子どもの成長に楽しさを見出せるように支援します。

健康・生活

心と身体の健康維持・改善

健康状態の把握をします。

生活リズムの安定と環境設定

睡眠や食事など、基本的な生活リズムの安定に向け療育支援を行います。障害特性や身体状況、及び訪問時の状況に考慮しながら、安心して様々な遊びができるよう安楽な姿勢や環境設定を行います。

言語・コミュニケーション

言語の受容と表出

活動を通して、YES/NOや「もう一回」など、基本的な言葉の認識を図り、感情の表出を促します。

コミュニケーションの土台作り

表情や瞬き、発声、動きなどを読み取り、やりとりを行う中で、意思を表出できるように支援します。

運動・感覚

姿勢の保持・動作の向上・身体発達の促進

わらべ歌やミュージックケアで、心地よいタッピングやマッサージを体験できるように支援します。

五感への刺激・感覚の活用

季節に合わせた遊びや揺れ遊びの中で五感、前庭感覚、固有覚に働きかける遊びを行います。



人間関係・社会性

愛着形成

身近な大人と信頼感を育み、安心できる環境の中で自分の意思を表出できるように支援します。

年齢に合わせた社会性の構築

遊びを通して、もっとしたい！と次への意欲につながるように支援します。外の世界へ出るための社会性の発達を促すように支援します。

認知・行動

認知の発達

遊びを通して五感に働きかけ、好きなこと、興味のあることを増やし、物への認知形成を図ることを支援します。

行動の習得

「楽しい、もっとしたい！」という気持ちを育て、視線や指先の動きなど身体動作を促進し、成功体験へと繋げていける支援を行います。見通しをもって活動ができるように環境を整えます。

家族支援

保護者と子どもの関係づくりをサポートします。兄弟姉妹と子どもの良好な関係づくりをサポートします。

家族からの悩みや困りごとに対して相談にのります。

移行支援

支援会議への参加や、保育園や学校など他機関との調整をします。

地域連携

他事業所と連携し、子どもを中心としたネットワーク作りに努めます。